

事業実績シート

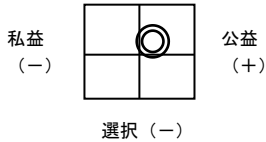
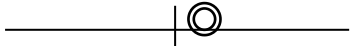
	<p>施。全国から 18 名の移住希望者が参加。五島市奥浦地域での民泊体験や、空き家見学、仕事情報説明会、いかだ釣り体験等を行った。</p>
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	<p>(事業開始の背景)</p> <p>五島市は現在、基幹産業である農林水産業の衰退や地勢的な条件不利、歯止めのかからない人口減少と高齢化率の上昇という大変厳しい状況にある。これらの問題を解消するために、五島市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略において、UI ターン者をサポートし、住み続ける“しま”をつくるため、就業や住まいなど、UI ターン者の定住に関する不安解消にむけ、環境整備の取組を強化することとしております。</p>
	<p>(経緯・現状)</p> <p>上記の相談会等の情報発信のほか、田舎暮らし体験施設の整備や農・漁業研修制度の運営などの事業を実施しているが、平成 19 年度の事業開始から平成 28 年 3 月末までに、ワンストップ窓口を経由した移住者数が 126 世帯 211 名である。H27 年度からは定住促進事業を大幅に拡大し、空き家バンク制度の創設、空き家を活用したお試し居住施設の整備、田舎暮らし体験ツアー等の実施し、移住者数も H26 の 18 名から H27 年度は 52 名に大幅に増加している。今後は移住者に対してこれまでにない総合的な取組を展開する。</p>

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）		203,742	925,342	2,956,311				
（財源内訳）	国庫支出金	0	0	0				
	県支出金	0	0	0				
	地方債	0	0	0				
	その他	0	0	0				
	市町振興共同事業助成金	135,828	616,894	1,970,874				
	一般財源	67,914	308,448	985,437				
成果（活動） 指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	田舎暮らし体験ツアー利用者のうち移住者数	ツアーを通じて五島をより一層身近に感じてもらうことで、五島への移住に対する不安を少しでも取り除き、移住者の増加へと繋がることが期待できる。		目標	0	0	5
					実績	0	0	0
				目標達成率（％）	0	0	0	
	②	UI ターン者数			目標	20	20	50
					実績	28	18	52
				目標達成率（％）	140	90	104	

3 事業の振り返り

必要性の点検	（1）公共性評価		必需（+）  私益（-） 公益（+） 選択（-）
	（公益性） <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	（必需性） <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	（2）行政関与の妥当性評価		（3）廃止又は休止した場合の影響
	妥当性低い 妥当性高い （-） 0 （+） 		（影響内容、程度等） 全国的に少子高齢化や人口減少が問題となっている昨今において、離島という厳しい状況下にある本市においては、様々な手段で情報発信を行い、継続的に田舎暮らしの魅力を発信していく必要がある。

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		平成27年度からUIターン促進事業を大幅に拡大し、UIターン者に対する支援を強化したことから、移住実績の増加につながった。	
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地		(工夫の内容・工夫の余地がない理由)	
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある			
実施予定 期 日	H28年度	平成28年度からこれまで以上に移住施策を拡大し、移住者へのサポート体制を構築する必要がある。		
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)		
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない				
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		都市部での移住相談会等を活用した情報発信については『市』が、それらの情報により移住希望者が参加する田舎暮らし体験ツアーについては『民間団体』が、といった民間と行政の役割分担が必要であると考えている。	
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)	
<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		まずは気軽に相談できる環境づくりが必要と思われる。相談料が有料となると相談の機会が少なくなると思料される。		

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input checked="" type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期		H28			
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	大都市圏内での情報発信は、まずは『五島』を知ってもらうための有効的な手段であり今後も必要な活動だと考えられるため今後も継続して実施していきたい。 平成28年度からは、これまでのUIターン施策に加え、子育て世帯の移住を促進するため、引っ越し費用等の助成をおこなう。				